

与那国町地域おこし協力隊募集（漁業振興分野）

1 募集の背景と目的

与那国町では、基幹産業のひとつである漁業の振興を図るため、地元漁協と連携しながら水産物の付加価値向上や流通の改善、若手担い手の育成を進めています。このたび、漁協の活動を支え、地域の漁業を元気にするための人材を募集します。

2 活動場所

与那国町漁業協同組合（与那国町字与那国）

3 募集人数

若干名

4 活動内容（例）

（1）漁協業務の補助

- ・漁業者からの出荷受付、伝票処理などの一般事務
- ・水産物販売や購買管理の補助

（2）水産加工・商品開発支援

- ・地元魚介類を活かした加工・試作
- ・新商品の試験販売、販路拡大の支援
- ・加工場の衛生管理や品質管理の補助

（3）漁業振興活動

- ・漁協や町が実施する漁業関連イベント・研修の支援
- ・情報発信（SNS・広報物作成等）
- ・地域住民や観光客への地魚 PR 活動

5 応募条件

- ・応募時点で、都市地域等（総務省HP掲載の「特別交付税措置に係る地域要件確認表」https://www.soumu.go.jp/main_content/000862230.pdfを参照）から与那国町へ住民票を異動して居住できる方。
- ・普通自動車運転免許を有する方
- ・基本的なパソコン操作（Word・Excelなど）ができる方
- ・地域に溶け込み、住民・漁業者と協働できる方
- ・水産業や地域振興に意欲のある方※水産業経験や加工業務経験のある方を歓迎します。

6 雇用形態・報酬等

- ・与那国町地域おこし協力隊として町が委嘱（または会計年度任用職員）
- ・月額報酬：最大 210,000 円

※但し、規則による査定により決定します。

- ・活動に必要な経費（作業着・消耗品・研修旅費等）は活動費の範囲で負担
- ・住宅は町または漁協で確保（家賃補助あり）

7 活動期間

委嘱の日から 1 年間（更新あり・最長 3 年）

8 応募方法

- ・応募受付期間

令和 7 年 12 月 19 日（金）から令和 8 年 1 月 16 日（金）まで

※下記の応募書類を令和 8 年 1 月 16 日（金）17 時までに、送付・問い合わせ先にデータ提出、郵送または持参してください。

- ・応募書類

- ・与那国町地域おこし協力隊申込書（写真添付）
- ・住民票の写し
- ・運転免許の写し

※応募用紙は与那国町のホームページからダウンロードしてください。

※合否通知等に使用するため、メールアドレス及び電話番号は必ず記載してください。

※選考結果に関わらず、応募書類は返却しませんのでご了承ください。

- ・送付・問い合わせ先

〒907-1801 沖縄県八重山郡与那国町字与那国129

企画財政課「与那国町地域おこし協力隊担当」宛

企画財政課メール takato-y@town.yonaguni.lg.jp

9 選考

- ・第1次選考（書類選考）

選考結果は1月中旬までに応募者全員に対し履歴書記載のメールアドレスに通知します。

※メールアドレス以外で通知はしないので、必ずメールアドレスを記載して下さい。

- ・第2次選考（面接選考）2月予定

第1次選考合格者は、web面接による第2次選考を実施します。面接の実施方法及び日時と場所については、第1次選考結果通知時にお知らせします。

- ・最終選考（現地確認）2月までに実施

第2次選考合格者は、与那国町に来島していただき、地域の環境確認、所属団体関係者との面談等を実施したうえで、本人の最終意思を確認し合否を判断します。

※最終選考に係る、航空運賃及び与那国町内での宿泊費は、町で負担します。

10 その他

採用者については、令和8年4月1日の着任を予定しています。

11 問い合わせ先

与那国町役場 業務については産業振興課

メール : sangyou@town.yonaguni.lg.jp

TEL : 0980-87-3582

応募については企画財政課

メール : takato-y@town.yonaguni.lg.jp

TEL : 0980-87-3577

💡 活動のねらい・期待される効果

漁協事務の人材不足を補い、経営の安定化を支援
加工・商品開発を通じて、与那国産魚介のブランド化促進
地域外の視点を取り入れ、観光・教育との連携を強化
将来的には協力隊員の定住・起業も視野に

漁業振興分野（漁協勤務）

3年間の活動イメージ

1年目：基礎習得・信頼関係づくり

- ・漁協の業務（出荷、販売、加工）を理解し、職員や漁業者との関係構築
- ・地元魚種や水揚げ状況、流通構造などを把握
- ・加工場での作業や衛生管理を習得

2年目：企画・実践フェーズ

- ・加工品開発や販売イベントの実施
- ・SNSや広報誌での情報発信・ブランドPR
- ・若手漁業者や女性部との協働による地域活動支援

3年目：定着・発展フェーズ

- ・商品の安定的生産・販売ルート確立
- ・後進へのノウハウ共有
- ・自主的なプロジェクト（小規模加工・直販など）を展開

任期後の展望・可能性

- ・漁協職員・臨時職員としての継続勤務
（協力隊活動で培った経験をもとに地域人材として定着）
- ・個人事業としての水産加工・販売の起業
（地元原料を使った商品開発・通信販売など）
- ・地域団体や観光事業との連携
（漁業体験・食育・観光資源化など）
- ・町外販路を持つ地域水産コーディネーター的立場
（町・県・漁協の橋渡し役として継続関与）

総合的な方向性（共通展望）

漁業・農業ともに「地域に根差した担い手」「協力隊OBの中核人材」を育てることが目的。将来的に、与那国町の1次産業を横断的に支える地域マネージャーとして加工・流通・人材育成・情報発信に関わることも期待されます。
町内の複合産業（例：農水産加工・観光・教育連携）への発展も可能